

出会い

No. **76** 2017. 4. 5

キリスト教教育委員会



『狭き門』
(中村さとみ氏撮影)

「狭い門から入りなさい。滅びに通じる門は広く、その道も広々として、そこから入る者が多い。しかし、命に通じる門はなんと狭く、その道も細いことか。それを見いだす者は少ない。」(マタイによる福音書7:13-14)

「真理があなたたちを自由にする」(ヨハネ福音書8章30-32節)

——真理探求の共同体としての大学——

循環農学類 キリスト教応用倫理学研究室 小林 昭博

ヒンメリの材料ライ麦から連想する、多面的視野の大切さ

循環農学類 作物学研究室 義平 大樹

「食べる」ということ

食と健康学類 栄養指導論研究室 杉村留美子

動物記念祭

獣医保健看護学類 動物生体反応研究室 宮庄 拓

「真理があなたたちを自由にする」(ヨハネ福音書8章30-32節)

——真理探求の共同体としての大学——



循環農学類 キリスト教応用倫理学研究室 小林 昭博

彼がこれらのことを語ると、多くの者たちが彼を信じた。そこでイエスは彼を信じるようになったユダヤ人たちに言った、「もしあなたたちがわたしの言葉に留まるならば、真にあなたたちはわたしの弟子であり、あなたたちは真理を認識し、真理があなたたちを自由にするであろう」。(ヨハネ福音書8章30-32節【私訳】)

大学の存在理由の根拠

「真理があなたたちを自由にする」というヨハネ福音書のテキストは、欧米の大学や日本のキリスト教大学において非常に尊ばれてきた言葉です。それは大学が高等教育研究機関として「真理探求」を目的としているからにほかなりません。むしろ、ヨハネ福音書の本来の文脈では、宗教的真理を認識することによって、人間は真に自由にされるという宗教的言説が言い表されていますので、この言葉をそのまま大学の「真理探究」に当てはめることは適切ではありません。

しかし、そのことを重々承知しつつも、数多の大学がこの言葉を大切にしてきたのは、このテキストが「真理」を探求する人間を承認してくれるものとして受け取られてきたからです。つまり、「真理があなたたちを自由にする」という言葉は、大学や研究者の「存在理由」(raison d'être)を承認ないし保証してくれる根拠にされてきたということです。

ギリシャ哲学の「真理」

このテキストで「真理」と訳されている古代ギリシャ語の *alētheia* という語は、「隠れている」や「気づかれないでいる」を意味する *lēthō* や *lanthanō* という動詞に、否定辞 *a* を付

して名詞化したものですので、この語の原意は「隠れていないこと」や「気づかれること」です。ですから、古代ギリシャ語では、「隠れていたものが気づかれるようになること」が「真理」の意味に転じたのです。

このような古代ギリシャ語の「真理」の概念の背後には、プラトンに代表されるギリシャ哲学の二元論に基づくイデア論が横たわっています。イデア論とは、この世界とは別のもうひとつの世界が「イデアの世界」(理想の世界／理念の世界)として存在し、そのイデアの世界こそが本来の世界であり、真に大切にすべきものであるという思想です。したがって、イデア論に基づけば、「真理」もまたイデアの世界に「隠れている」ことになり、ギリシャ哲学の「真理」とは、イデアの世界に「隠れている真理が気づかれるようになること」、すなわち「真理の発見」にほかならないのです。

大学 (universitas) の起源

大学の起源は、12～13世紀のヨーロッパの諸都市に存立していた *studium* (学校) に集まってきた「教師」と「学生」とが、高度な学問研究に基づく「真理の探究」を目的として形成した *universitas* (組合／共同体) と呼ばれるものです。このラテン語の *universitas* が西洋語の

「大学」(university / Universität / université)の語源です。

この語はunus(ひとつの)とverto(向く/向きを変える)という二語から成り、語源的には「ひとつの方向に向く」を意味し、それが「ひとつの方向性を持つもの」や「ひとつの目的を目指すもの」という意味に転じ、「組合」や「共同体」を意味する名詞になりました。

最古のuniversitasはボローニャ、オックスフォード、パリに誕生しましたが、それを支えたのは当時の教会でした。教会は経済的にuniversitasを支えたのですが、その中身について干渉しないというのが大前提でしたので、universitasは「教師」と「学生」による自主的な運営に委ねられました。これが「学問の自由」や「大学の自治」の起源ともなりました。

学問の自由と大学の自治

以上のように、「大学」とは、教会の支援を受けつつも、教会と国家を含めたあらゆるものから自由な「真理の探究」を目的とする自治の共同体として発足しました。それは教会や国家に気を遣ってはいは、真に「真理探究」をすることはできないという考えに基づくものであり、また「真理の発見」がたとえ教会や国家の権威や権力に都合が悪くとも、大学および研究者は「真理の探求」を全うするとの覚悟の表れでもあったからです。

しかし、ガリレオ・ガリレイの宗教裁判からも明らかのように、いつしか教会は自らの権威を脅かす学問の自由を剥奪しようとする愚を犯すようになったのです。また、カール・ヤスパースがヒトラー政権下での学問の自由と大学の自治の壊滅を受け、『大学の理念』(Die Idee der Universität)の新版を1946年に上梓し、真理探究の共同体である大学にとって、その思想や行動の自由を剥奪されたことが決定的



【クリスマス・シーズンの黒澤記念講堂】

な危機であったことを省察したことが想い起こされます。

真理があなたたちを自由にする

ヨハネ福音書のこのテキストは、イデア的な「真理を認識し」たとき、その「真理があなたたちを自由にするであろう」という、「真理の発見」や「真理の認識」による人間の新たな可能性を示唆しているように思えます。なぜなら、イエスはその時代の宗教的迷信から人間を自由にし、権威や権力に凝り固まる宗教を批判した結果、十字架刑で殺されたからです。イエスのこの姿は、熱心なクリスチャンであったガリレオが宗教の迷信や虚栄から人間を自由にし、歴史を変えたことに通底すると思われるのです。

むろん、軍事研究のように、「真理の発見」が人類や世界を危機に陥れることもあり、「学問の自由」と「真理の探究」を信奉する大学は、外圧によるのではなく、自制と自省を繰り返すことが肝要です。

ヤスパースは大学では学生と教師は対等な研究者であると強調しました。新入生のみなさんも、「真理があなたたちを自由にする」というイエスの言葉に促され、「真理探究の共同体としての大学」において、研究生活の第一歩を踏み出してください。酪農学園大学は新入生のみなさんを心より歓迎します。

ヒンメリの材料ライ麦から連想する、多面的視野の大切さ



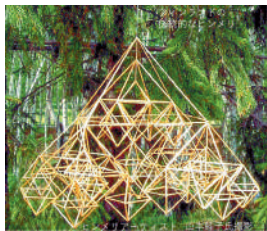
ヒンメリ(麦わらの装飾品)ってご存知ですか？

皆さん、入学おめでとうございます。循環農学類作物学研究室の義平と申します。さ

まざまな新しい人との出会い、学問との出会いに夢膨らませている人も多いと思います。また、入学式がキリスト教の礼拝形式で行われていることに驚いた方も少なくないと思います。礼拝堂の玄関に写真のような麦わらの装飾品ヒンメリが置いてあります。ヒンメリは、フィンランドをはじめ北欧諸国で、クリスマスに家庭や教会で飾られる伝統的で質素な装飾品です。

伝統的なヒンメリの材料ライ麦は、従来小麦畑の雑草だった。

このヒンメリは全国的にプラスチックのストローで作成するのが今ブームになっていますが、伝統的な本当のヒンメリはライ麦という特殊な麦の一種でつくられます。ライ麦は中央アジアを起源とする日本では特殊な麦です。4500年前頃まで、みなさんが毎日食べている小麦の中に混ざってくる、やっかいな雑草でした。しかし、ライ麦は冬の寒さを乗り越える力(耐寒性)、乾燥した気候にも耐える力(耐乾性)に優れた、ストレスに強い雑草です。そこで、人類はアフガニスタンの高地や北欧などで、小麦が全滅して



ヒンメリアーティスト 山本睦子氏撮影

しまうような寒い気候や乾燥条件でも枯れることが少ないライ麦を小麦栽培の限界地帯の作物として利用するようになりました。ライ

循環農学類 作物学研究室 義平 大樹

麦は雑草出身ということで、現在でもワイルドなたくましい部分と、作物としては洗練されていないもろい部分の両面を持っています。

なぜ、ライ麦がヒンメリの材料に適しているか？

ライ麦がヒンメリの材料に適しているのは、ライ麦の細くてしなやかな藁の性質にあります。これは、ライ麦が元々雑草である生い立ちの現れです。現在の小麦は、気温や日照条件の良い時に余った光合成産物を茎に貯蓄する性質を持っています。稲塚権次郎氏



(世界的に名の知れた、戦中戦後のイネ、小麦の育種家)が育成した農林10号の持つ矮性遺伝子が世界の小麦に導入されて以来、この小麦の余剰光合成産物の一時貯留の性質は強くなり、1960、1970年代の小麦の飛躍的な収量向上(緑の革命)に大きく貢献しています(←江別市もロケ地となり映画化)。

ところがライ麦は余った光合成産物があっても、貯蓄する事を知らず、ドンドン茎をのぼします。このライ麦の特性が細長く鮮やかな茎を生み出し、他の麦藁では不可能な繊細なヒンメリの作成に役立ちます。また、この性質は小麦畑の雑草である時代には小麦よりも早く成長して光を奪う点で有利でした。しかし、作物となった現在では、多くの栽培上の厄介な事を引き起こします。ライ麦は長稈過ぎるため、日照不足条件や肥料のやり方を間違うとすぐに倒れてしまいます。倒れると、子実は

細粒化したり、病気に罹病しやすくなり、また、穂発芽（収穫前に穂から芽が出てしまう現象）を誘発します。ライ麦は牧草同様に反芻家畜のエサとしても利用できますが、穂が出た後の茎の伸長が急速に進み過ぎて、刈り遅れると消化率の低いエサとなってしまいます。

ライ麦の多面的側面から感じること

一方、ライ麦の低温耐性は目を見張るものがあります。耐寒性に優れたライ麦品種は -32°C でも半数が生存します（半数個体致死温度）。また、 10°C 以下の低温条件でライ麦ほど早く伸長できる作物を目にしたことがありません。私はこのライ麦の性質は世界の寒冷地の食糧生産にとって有用な遺伝資源と考えています。

ライ麦の多面性を実感すると、人間にとってすべて都合の良いスーパーマン的な作物は存在せず、すべての作物は長所と短所の両面を有しており、栽培上いかに、弱点に留意し有利性を発揮させるかは人間次第であると強く感じます。これを思い出す時、下記の聖書の言葉を連想します。「家を建てる者の捨てた石、これが隅の親石になった。これは主の御業わたしたちの目には驚くべきこと」（詩編118：22-23）。

大学教育・研究のキーワードの一つは多面的な視野

最近、世の中の多くの出来事を一方的善、一方的悪とする、二元論的な風潮を感じます。トランプ現象もその一つだと言えるでしょう。二元論は短期的には分かりやすく、一時的には心が動かされやすい傾向があります。しかし、その事象について深く知ると多面的な側面があることが分かり、その中で総合的にどう考えるかが重要であることを痛感します。

この事は人物評価についても同様です。すべての分野が得意である全能のスーパーマン的人物は



存在せず、必ず苦手分野を持っています。それが人間らしい所以です。私たち教員も学生さんの多面的側面を見なくてはなりませんし、学生さんも我々教員の多くの面を見ていただけたらと思います。この事ができる時、「Respect each other」の関係が生まれるような気がしています。私は、時間的な余裕がない時にこれを十分に実行できず、多くの失敗をした事を回想し、反省の念に苛まれる事が多々あります。



どの事象においても多面的な視野と、専門性に基づく主体的な意見が存在する。

私は最近、大学で身に着けるべき素養の一つは「物事の多面性の理解と、それを総合的に考えた時に専門性に基づいた主体的な意見を持つ事」と思っています。

多面的な視野ばかりですと、専門性のない受動的な評論家になってしまいました。皆さんがこれから進む分野から世の中を見て、専門性に裏打ちされた主体的な意見が持てるようになることも重要です。自分の心の中で反省しながら、主体的な意見を持つことは、将来の職業選択にも直結します。これを思い出す時、次のような聖書の言葉を連想します。「求めなさい。そうすれば、与えられる。探しなさい。そうすれば、見つかる。門をたたきなさい。そうすれば開かれる」（マタイ福音書7：7-12）。

終わりに

「物事の多面性の理解と、それを総合的に考えた時の専門性に基づいた主体的な意見」を持つ時、学問が楽しくなり、苦境におかれた時の自分の客観視につながり、ひいては社会を専門性から変革させる原動力に繋がると思っています。この事をどこかに意識して、大学生活を送っていただければ幸いです（これを申すには教員として実績が足りず、おこがましい事を意識しつつ……）。

「食べる」ということ



食と健康学類 栄養指導論研究室 杉村留美子

新入生のみなさん、酪農学園大学へようこそ。これからの学びが実り多き大学生活となりますよう祈念致します。いよいよスタートですね。

先輩をみて

食と健康学類の管理栄養士コースでは、3月19日に国家試験を終えた卒業生が5月の合否判定をドキドキしながらも心待ちにしている時期であります。酪農学園大学での学業を修めた集大成として、これまで必死に勉強してきました。晴れて管理栄養士になることが叶うと、「食べる」ことを通して、人の健康の維持・増進から疾病の治療までに関わり、栄養療法を通して臨床栄養や公衆栄養の分野で活躍します。

毎日の「食べる」ものが自身の身体となる

私は管理栄養士です。大学の構内で学生に出会うと、「元気かい?」「きちんと食べているかな」と、自分の子どものように心配になることがあります。

皆さんは今朝、朝食を食べて来ましたか? 大学生となり、一人暮らしを始めた人も多いと思います。新しい生活の中に炊飯器はあるでしょうか。温か

いご飯が炊けると毎日の食事は安心してすね。朝はギリギリまで寝ていたい日もあるでしょう。それでも時には、丁寧に出汁をとったみそ汁を作ってみてはいかがでしょう。温かい汁物があると気持ちがりラックスしてほっとします。忙しく過ぎる中では有難いひと時です。みそ汁には、冷蔵庫にある野菜をたっぷり加えてみて下さい。生野菜のサラダよりも沢山の野菜を手軽に食べることができます。さらに、納豆や卵があればご飯が進みます。しかも安価なお助け食材です。

このような「食べる」ことに対する心掛けが、皆さんの大学生活を助けてくれるはずです。貧血のような症状の日が減ったり、体調が悪くとも治るのが早かったり、と。

「食べる」ことを通したこれからの出会い

皆さんの周りには沢山の同級生がいて、さらには先輩や教職員など、これから多くの人との出会いがあります。仲良くなりたいな、と思う人に出会ったら、ぜひ食事に誘ってみて下さい。大学の食堂へともに出向いたり、あたたかい季節になったら外でのお弁当はいかがでしょう。想像しただけでも楽しい場面が思い浮かびます。

だれかと一緒に食べることを“共食”と言いますが、食事は共食を通して人と人とがつながり、共感し合う場となります。食を共にすることで、相手への理解が進展し、集団の中での人間関係の構築を早めることが判っています。食を通したコミュニケーションは円滑にすすむことでしょう。おいしいものは人を笑顔にしますよね。

おいしさに関与する要因は様々ありますが、私たちは、おいしさに快い感覚を求めます。おいしさは味覚、嗅覚、触覚、視覚、聴覚を含めた五感に影響されて、食べものを味わい、香りを嗅ぐことでおいしさを高め、口に入れた時にはテクスチャーを楽しみ、美しく盛り付けられた料理をみて食欲を増し、噛むときの咀嚼音からおいしさを期待します。それでも、おいしさに関わる要因は五感によるものだけではありません。私たちの官能特性はとても複雑であり、五感を通じて感ずる食べものの色やつや、味やにおい、テクスチャー、音、温度などの様々な刺激と、これまでの嗜好や食経験を照らし合わせて、「おいしい」（あるいは「まずい」）を決定します。この決定には、さらなる要因が関与していて、空腹感や健康状態の影響は大きく、「食欲もりもりで、お腹がぺこぺこ」の状態が何よりおいしさを強調することは、だれもが経験していることだと思います。その他にも、食文化や食習慣などの食環境や、季節や気温、食卓の演出や照明などの外部環境によって、おいしさが形成されます。そして何よ

りも、これから出会う人たちと「共に食べる」ことが、おいしさを最も高める要因になるのではないのでしょうか。

感謝の気持ちをもって食をいただく

1年生の前期から始まる基礎演習Ⅰでは、実際に作物栽培を行います。この授業では、グループ単位で栽培計画を立て、種まきから収穫までの作業に取り組み、最終的にはそれらのまとめに収集した情報を加えてポスターや口頭で発表する実学であります。土に触れ、畑の管理を行い、自分たちで育てた作物を食べるまでの一連を通じて仲間ができ、収穫の喜びを分かち合えることができるでしょう。

これからの酪農学園大学の構内では、作物がどんどん成長していく過程に出会うことができます。収穫の時期を楽しみに、そして、命をいただくことへ感謝の気持ちをもって食事をしたいですね。毎日の食事が皆さんの身体を作り、食事を通じてコミュニケーションの輪が広がりますよう、願っております。



【丁寧な雑草とりで畑の管理】

動物記念祭

獣医保健看護学類 動物生体反応研究室 宮庄 拓



酪農学園大学では年に1度、獣医学群が中心となって『動物記念祭』を行っています。動物記念祭は酪農学園大学で教育や研究に用いられて死亡した動物たちや、附属動物医療センターにおいて治療の甲斐なく

死亡した動物たちの尊い命を思い起こし、追悼と感謝の祈りを捧げる礼拝です(礼拝ですので「祭(さい)」なのです)。私たちは動物たちの生命に感謝して、礼拝を捧げています。

酪農学園大学は生命の大切さを『感謝』の気持ちを持って学べる大学です。



【動物記念祭の様子】

あ と が き

- ◇これからの大学生活、感謝を忘れず、思いっきり楽しんで下さい。(T.M.)
- ◇多感な若い時期に能動的に多くのことを体験してください。(T.Y.)
- ◇たくさんの仲間との出会いをどうぞ大切に。(R.S.)

- ◇『出会い』76号をお届けします。その内容から本学の教育・研究が生命を大切にしたい営みであることが伝わってきます。その意味でも、本文でも触れた大学の軍事研究の問題は「三愛精神」の対極にあるものだと言えるのではないのでしょうか。(A.K.)

酪農学園大学キリスト教教育委員会
〒069-8501 北海道江別市文京台緑町582番地
Tel. 011-386-1111 (代表)